

□ 要請番号 (JL10623A15)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
フィジー	C201 家畜飼育		個別	交替 2代目	2年	・2023/4・2024/1・ 2024/2・2024/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

農業省

2) 配属機関名 (日本語)

コロニビア農業試験場

3) 任地 (ナウソリ町) JICA事務所の所在地 (スバ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属機関は、フィジーの首都スバ市から20km程度離れたナウソリ町コロニビアにある農業試験場である。農業省が管轄する5つの農業試験場の中で最大の規模であり、農業試験場を統括する機関でもある。配属部署である家畜研究部署では家畜管理、家畜栄養、飼料、育種、繁殖、遺伝資源保護など家畜に関する様々な研究を行っている。なお、研究対象の家畜は乳牛、豚、ヤギが主である。海外からの支援も多く入っており、2015年から2020年まではニュージーランドが酪農支援プロジェクトを実施していた。年間予算は約1億円。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

農業試験場で飼育している牛1頭当たりの生乳生産量は1日8L程度であり、家畜飼料の改善を通して生産量の増大を目指している。現在、流通している配合飼料の主原材料の多くは輸入に頼っており、農家では経済的な負担から配合飼料を導入していないケースが多い。そこで、安定的かつ低コストに配合飼料を農家に供給すること目的とし、フィジーで生産される農作物を用いた飼料の配合に取り組んでいる。そのため家畜栄養生理や飼料分析分野での研究・技術開発への助言と支援を求め、JICA海外協力隊の派遣要請となった。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先のスタッフの一員として同僚と協働して、以下の活動を行う。

1. 優良な飼料原料の探索と飼料配合、栄養組成に係る業務についてスタッフに助言を与え、研究を支援し、技術力を向上させる。
2. 生乳生産量の拡大を目的とし、様々な観点から家畜飼育に関する助言を行う。
3. フィジーの各地域にある畜産研究所と協働し、フィジーにおける家畜飼育の課題を発見し、解決策を模索する。
4. 農家を訪問し、隊員が持つ経験や試験場で得られた結果に基づいて、畜産全般に関わる助言を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

一般的なオフィススペース

4) 配属先同僚及び活動対象者

<配属先同僚>
6名(牧草グループ1名(大卒30代)、養豚グループ2名(大卒30代)、飼料グループ3名(大卒20代、30代))

<活動対象者>

飼料グループの職員3名、農家

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

英語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]： ()

[学歴]： (大卒) 畜産学 備考：配属先の希望

[性別]： () 備考：

[経験]： (実務経験) 5年以上 備考：配属先の希望

[参考情報]：

- ・家畜栄養分野の実務あるいは研究経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (熱帯雨林気候) 気温： (20~35°C位)

[電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可)

[水道]： (安定)

【特記事項】